

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演 習
科 目 名	コンピュータ演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	本館2階PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、試験点(70%:内訳(定期試験40%、課題30%))						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
イーラーニングテキスト						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	COUNTIF関数やピボットテーブルを使用したアンケート集計ができる	卒研対策1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	卒研① アンケート分析			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なグラフの作成方法を理解し、活用できる	卒研対策2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	卒研② グラフの活用			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	卒業研究作成に必要な知識操作方法を習得し、活用できる	卒研対策3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	卒研③ 卒業研究作成のヒント			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	Excelレベル3D グラフ応用	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	折れ線グラフ/複合グラフ/100%積み上げグラフ/レーダー/スパークライン			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実務で使う資料をデザインすることができる 1	実務資料作成1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。	
		各コマにおける授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義を通じての到達目標	実務で使う資料をデザインすることができる 2	実務資料作成2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
	各コマにおける授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする		
第7回	講義を通じての到達目標	実務で使う資料をデザインすることができる 3	実務資料作成3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
	各コマにおける授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする		
第8回	講義を通じての到達目標	データの特徴を数値化できる (平均、分散、標準偏差)	Excel統計1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方		
第9回	講義を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる1 (基本統計量を求める、ヒストグラムの作成)	Excel統計2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		
第10回	講義を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる2 (散布図、相関係数を求める)	Excel統計3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出		
第11回	講義を通じての到達目標	統計的検定を実施できる1	Excel統計4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t検定(一対の標本の平均値の差の検定)/F検定(分散の検定)		
第12回	講義を通じての到達目標	統計的検定を実施できる2	Excel統計5	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	t検定の種類、使い分けについて/t検定(独立2標本の母分散が等しい平均値の差の検定)/t検定(独立2標本の母分散が等しくない平均値の差の検定)		
第13回	講義を通じての到達目標	重回帰分析の意味を理解できる	Excel統計 重回帰分析 (介護、福祉系)	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	重回帰分析/復習(相関・度数分布表(ヒストグラム)・t検定)		
第14回	講義を通じての到達目標	分散分析の意味とその使い分けについて理解できる	Excel統計 分散分析 (医療、看護系)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	1元配置の分散分析(対応のない因子の場合)/2元配置の分散分析(対応のある因子の場合)/独立性の検定(カイ2乗検定)/死亡率・生存率・罹患率の算出		
第15回	講義を通じての到達目標	前期で習ったことを実践できる	Excel統計試験対策	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	Excel統計復習問題の実施		